

スタートアップ支援の取組みについて

1 背 景

地方創生を進めていく中で、地方都市の人口減少を食い止めるには、雇用を生み出すことが何より重要であり、起業を支援することは行政にとって必須の課題である。今こそ、しごとをつくり、ひとの動き（流入）をつくる取組みが求められている。

2 「北九州スタートアップネットワークの会」の設立（平成 27 年 4 月 24 日）

起業した人、起業しようとしている人、それを支えるリソース、ノウハウを持つ人。こうした人々が集い、つながる（ネットワーク）ことで、起業と事業継続の課題解決への近道となる。こうした中、行政が起業を本気で支援するべく「北九州スタートアップネットワークの会」を設立し、以下の3つの目的を達成すべく活動していくことで、起業の連鎖とエコシステムを創り出す。



4月24日（金）fabbitにて約100名が参加

- (1) スタートアップの行政支援はいかにあるべきか、意見を集約する場
- (2) 個別相談に対してきめの細かいワンストップサービスを提供する場
- (3) 金融機関を始めとした多様な分野の人の交流・情報交換により新たな価値を生み出す場
(4月24日に「第1回北九州スタートアップラウンジ」を開催)



3 今後の予定

- (1) 5月14日（木）17時～20時
北九州スタートアップラウンジ @ TOKYO
(起業移住の促進を目指した都市PRセミナー)



- (2) 5月23日（土）13時～18時30分
スタートアップ・ゴー!ゴー! @ fabbit
(学生等若年層を対象としたスタートアッププロモーションイベント)

